

(様式第 2 号)

宗像市副業等事業者事業継続応援補助金交付申請に係る宣誓・同意書

令和 3 年 月 日

宗像市長 あて

申請者 所在地

フリガナ
申請者氏名 ⑩

生年月日 年 月 日

性別 男 ・ 女

私は、宗像市副業等事業者事業継続応援補助金（以下「本補助金」という。）の交付申請にあたり、以下の事項を宣誓・同意します。また、虚偽の宣誓を行った場合又は同意した事項に違反した場合は、補助金の給付を受けていない場合は補助金の給付を受けることを辞退し、既に補助金の給付を受けていた場合は速やかに市長に返還します。

1. 私は給付対象者であり、給付要件を満たしています。対象月の売上減少要因は、緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置発令など新型コロナウイルスの影響によるものであることに間違いありません。
2. 本補助金の交付申請時において申請する補助対象経費は、事業に要する経費として明確に区分できるものです。
3. 申請書に記載している月間売上額は、新型コロナウイルス感染症対策として国又は地方公共団体による支援施策により得た給付金、補助金、助成金等を含めずに算出しています。
4. 本補助金の交付申請時において事業を継続しており、本補助金の給付を受けた後にも本市において事業を継続する意思があります。
5. 申請者は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員、暴力団員でなくなった日から 5 年を経過しない者又は同法第 2 条第 2 号に規定する暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者でないことを誓約します。また、本誓約内容について、市長が宗像警察署に照会することに同意します。
6. 本応援金の審査のために、宗像市が申請者の課税台帳等を閲覧し、必要最低限の調査を行うことに同意します。また、申請のために提出した証拠書類等に記載された情報及び応援金の給付状況を税務情報として使用することに同意します。
7. 本応援金受領後も、市長が必要と判断した場合、関係書類確認、事情聴取、現地調査等に応じることに同意します。